

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040101010100		事業の種類	5	
年度	28	事務事業名	企業誘致事業	予算事業名	企業立地促進事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		特色ある産業を支援する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		企業立地の促進		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市企業立地促進条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民の雇用創出					
	誰(何)を対象として	新規産業等の設置者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存存企業の移転の促進を行うことにより、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行うことにより、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	助成件数	件	0	0	0	1	
	誘致件数	件	0	0	0	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.048	100	0.036	75	0.036	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	730,437	704,390	96	619,686	88	615,393	99	
	事業費			-	0	-	600,000	-	
	合計	730,437	704,390	96	619,686	88	1,215,393	196	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	730,437	704,390	96	619,686	88	1,215,393	196	
合計	730,437	704,390	96	619,686	88	1,215,393	196		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		誘致件数							
指標説明(式)		企業立地促進条例による助成(固定資産相当額の助成、新規雇用者への助成、土地取得への助成)対象企業の誘致件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		企業誘致等の問い合わせ件数							
指標説明(式)		市内への企業進出や商業系施設の進出に向けた土地情報等の問い合わせ件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	2	3	150.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		1事業者当り助成額(千円)							
指標説明(式)		総助成額÷助成事業者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	1年間に数件の問い合わせがあるが、広大な土地の要求や進出希望会社のニーズと合致しないことが多く、新たな進出には結びついていない。	3
	市民サービス	地域再生計画により新たにオフィス賃料補助制度や固定資産税の不均一課税制度を実施するなど本社機能移転を検討する企業のサポートを行うことは有効である。	
効率性	負担割合の適正化	企業立地に関する助成額及び期間については、他市と比較しても妥当である。	3
	手段の最適性	様々なニーズに対応できる助成制度は、企業が進出するうえで要件のひとつにはなるので、制度整備を行っている事は手段として最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	実際の誘致に結びついていないという結果から進んでいない。	2

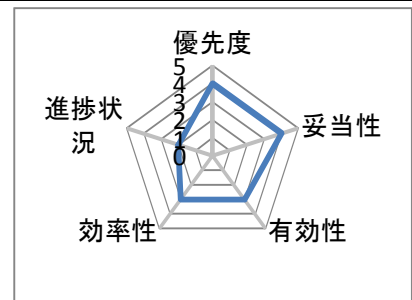
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	問い合わせに対応できるよう助成制度だけでなく、民間も含めた土地の情報を把握しておく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	連携中枢を活用しながら、市内だけでなく圏域の土地情報の動きを把握する。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040101010200		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	特定用地管理委託事業	予算事業名	特定用地管理委託事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		特色ある産業を支援する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		企業立地の促進		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	兵庫県企業庁及び用地管理受託者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県等との連携を強化し、特定用地を生かし企業立地を促進し、雇用の拡大をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県企業庁及び各自治会との矢野・若狭野の特定用地の管理委託業務を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	報告件数(1ヵ月3回の1年)	件	36	36	36	36	
	報告による現地調査	件	0	0	0	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費	382,000	411,000	108	426,000	104	463,000	109	
	合計	740,533	756,254	102	774,426	102	793,993	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	382,000	411,000	108	426,000	104	463,000	109	
	一般財源	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	合計	740,533	756,254	102	774,426	102	793,993	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特定用地利用率							
指標説明(式)		利用面積÷全体面積							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
率	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

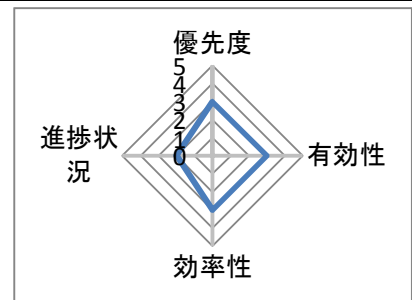
指標名1		1ha当たり管理コスト							
指標説明(式)		総事業費÷面積(256ha)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,462	2,812	63.0	2,900	103.1	3,101	106.9	
	実績	2,893	2,954	102.1	3,025	102.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	播磨科学公園都市内の企業用地が残っており、相生市の特定用地を開発する動きはない。	3
	組織運営・適正管理	用地管理については適正に行われている。	
効率性	手段の最適性	兵庫県から受託し、各自治会(若狭野町西後明、矢野町二木、矢野町真広、矢野町下田)へ再委託している。	3
	執行体制の効率性	災害等があった場合の効率性からみると、企業庁と自治会とが直接管理契約を結ぶほうが迅速に対応できる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	管理業務としては問題ないが、特定用地の利用を考えると進捗はしていない。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	災害時など不測の事態において、迅速に対応するため、企業庁との連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	報告すべき事由が発生した際に、各自治会と連携し、迅速な対応を企業庁へ求める。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040102010100	事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	就労促進事業	予算事業名	就労促進事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		技能・技術の習得と雇用情報の提供を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		雇用対策法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の求職者、職業訓練希望者					
	誰(何)を対象として	市内の求職者、職業訓練希望者の技能・技術習得に対するニーズ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	雇用の安定・労働力の確保、企業間の雇用の需要調整・労務改善を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		雇用開発協会・職業訓練校への補助					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	兵庫県雇用開発協会	円	100000	100000	100000	100000	
	相生雇用開発協会	円	80000	80000	79000	78000	
	西播建設高等技能学校	円	50000	50000	50000	50000	
	兵庫土建姫路建築技能専門学院	円	50000	50000	50000	50000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.032	100	0.184	575	0.144	78	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	584,678	96	1,734,866	297	1,468,593	85	
	事業費	280,000	280,000	100	813,420	291	790,000	97	
	合計	886,469	864,678	98	2,548,286	295	2,258,593	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	886,469	864,678	98	2,548,286	295	2,258,593	89	
	合計	886,469	864,678	98	2,548,286	295	2,258,593	89	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生雇用開発協会開催のセミナー受講者数							
指標説明(式)		受講者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	90	180.0	50	55.6	50	100.0	
	実績	85	43	50.6	24	55.8			
指標名2		西播建設高等技能学校・兵庫土建姫路建築技能専門学院の生徒数(相生市事業所・相生市在住者)							
指標説明(式)		生徒数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	1	50.0	2	200.0	2	100.0	
	実績	1	2	200.0	1	50.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

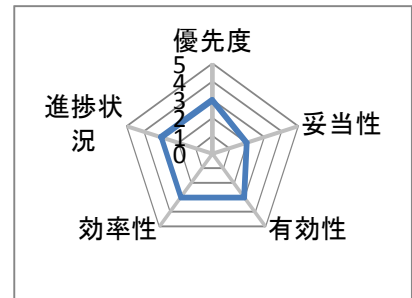
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	労働者の知識・技能習得の場であり、効果的な運営を望む	3
効率性	負担割合の適正化	県雇用開発協会は、全県下で補助を行っており、人口割等で負担割合の適正化を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業は予定どおり進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	職業訓練について、相生市在住者及び市内の事業所に勤める方が0人にならないようにしなければならない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	職業技能訓練の主催団体に、相生市内の事業者へ、PRを行うように要請する。

配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040102010200	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	高齢者雇用促進整備事業	予算事業名	高齢者雇用促進整備事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		就労環境の充実を図る	担当課長	松本 秀文	担当者名 藤岡 周平
取組み事項		技能・技術の習得と雇用情報の提供を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者雇用促進整備基金条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	就労を希望する高齢者			
	誰(何)を対象として	就労を希望する高齢者の就労環境			
	意図(どのような状態にしたいのか)	基金を造成し、原資の積立てを行うことにより、高齢者の雇用促進整備事業に要する経費に充てる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の雇用促進整備事業に要する経費に充てるため、利息を基金へ積み立てる。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	積立金	円	96448	97732	38331	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.036	0.040	111	0.108	270	0.104	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	637,461	644,534	101	1,162,206	180	1,152,593	99	
	事業費	96,448	97,732	101	38,331	39		0	
	合計	733,909	742,266	101	1,200,537	162	1,152,593	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	733,909	742,266	101	1,200,537	162	1,152,593	96	
合計	733,909	742,266	101	1,200,537	162	1,152,593	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		積立金							
指標説明(式)		積立金							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	84100	85000	101.1	0	0.0	0	-	
	実績	96448	97732	101.3	38331	39.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

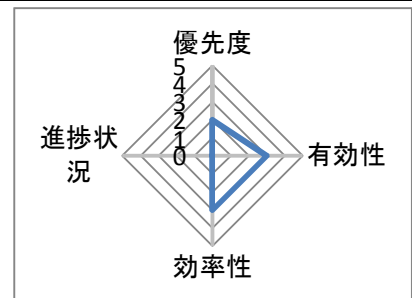
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	高齢者の雇用促進整備(シルバー人材センター)の施設整備のための基金であり、高齢者の雇用促進に繋がるものである。	3
効率性	手段の最適性	原資はシルバー人材センターの資金であるが、高齢者の雇用促進の観点から公共性が高いものと認め、市の基金としている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長期にわたる低金利状況により、基金の積立てが低調である。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	相生・上郡広域シルバー人材センター事務所兼作業所建設にあたり、同基金より、補助を行い、基金の廃止を行った。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040102020100		事業の種類	5	
年度	28	事務事業名	労働者福祉事業		予算事業名	労働者福祉事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	就労環境の充実を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項	勤労者の生きがいづくりを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		市補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	労働者(相生労働者福祉協議会)					
	誰(何)を対象として	労働者(相生労働者福祉協議会)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	労働者福祉活動向上させる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生労働者福祉協議会が行うクリーン作戦、学習会、福祉研修会、女性の集い、メーデー等への補助					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	労福協補助金	円	684000	684000	684000	584000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.044	157	0.064	145	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	575,477	674,462	117	830,666	123	836,593	101	
	事業費	684,000	684,000	100	684,000	100	684,000	100	
	合計	1,259,477	1,358,462	108	1,514,666	111	1,520,593	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,259,477	1,358,462	108	1,514,666	111	1,520,593	100	
合計	1,259,477	1,358,462	108	1,514,666	111	1,520,593	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		クリーン活動、学習会等参加者							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	255	271	106.3	282	104.1			
指標名2		メーデーの参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	1700	85.0	
	実績	1800	1800	100.0	1700	94.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

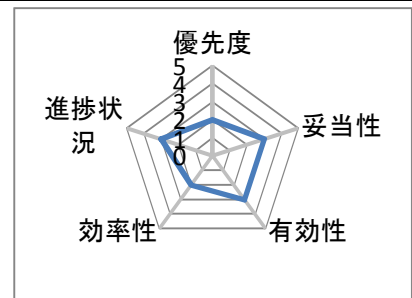
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	労働者福祉活動向上のため、より効率的な活動を行う。	3
効率性	負担割合の適正化	実施団体と市の負担割合について計画的に見直す必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	参加者は減少傾向にある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	事業に占める市補助金の割合が、45パーセントを上回ってしまっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	事業費に占める補助金の割合を決める。

配点	32.5
総合評価	16.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040102020200	事業の種類	
年度	28	事務事業名	勤労者住宅資金預託事業	予算事業名	勤労者住宅資金融資事業 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		勤労者の生きがいづくりを推進する		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規		相生市勤労者住宅資金融資要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	勤労者			
	誰(何)を対象として	勤労者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	勤労者に対し、住宅建築又は購入に必要な資金の融資を行うことにより、勤労者の生活環境の改善・整備・生活維持安定による勤労者福祉の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市は、取扱金融機関に預託し、取扱金融機関は、預託金の5倍の住宅資金融資を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	預託金	千円	30000	24000	21000	18000
	融資残高	千円	117539	100310	79315	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.024	120	0.056	233	0.056	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	513,493	524,822	102	770,386	147	773,393	100	
	事業費	30,000,000	24,000,000	80	21,000,000	88	18,000,000	86	
	合計	30,513,493	24,524,822	80	21,770,386	89	18,773,393	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	30,513,493	24,524,822	80	21,770,386	89	18,773,393	86	
合計	30,513,493	24,524,822	80	21,770,386	89	18,773,393	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2		融資額							
指標説明(式)		額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

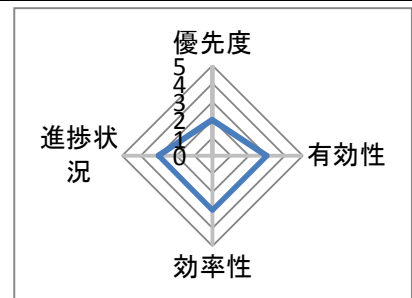
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市場の住宅貸付金利と大きな差があり、新規利用者がいない。	3
効率性	手段の最適性	利率の引き下げにより、新規利用者の増加を図りたいが、預託金の増額も発生する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成24年度より当分の間新規受付を行わない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	現融資制度は制度疲労を起こしており、利用者がいない状況である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	新規の利用者が無いものの、既存の利用者に対応する必要がある。

配点	32.5
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040102020300	事業の種類	
年度	28	事務事業名	シルバー人材センター育成事業	予算事業名	シルバー人材センター育成事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	就労環境の充実を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	勤労者の生きがいをづくりを推進する		実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名	シルバー人材センターワークプラザ建設事業				
根拠法規及び関連法規	高齢者雇用安定法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者			
	誰(何)を対象として	高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生きがいの充実や社会参加のため、就業の機会を提供することにより、福祉の充実と活力ある地域社会づくりに寄与する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生・上郡広域シルバー人材センター等に補助等を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	運営補助	千円	12244	12520	12264	12411
	全国シルバー人材センター事業協会賛助会費	千円	50	50	50	50
	県シルバー人材センター協会賛助会費	千円	50	70	70	70

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.072	257	0.056	78	0.056	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	575,477	883,958	154	770,386	87	773,393	100	
	事業費	12,364,000	12,640,000	102	50,561,988	400	13,609,000	27	
	合計	12,939,477	13,523,958	105	51,332,374	380	14,382,393	28	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,939,477	13,523,958	105	51,332,374	380	14,382,393	28	
合計	12,939,477	13,523,958	105	51,332,374	380	14,382,393	28		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	700	100.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	668	663	99.3	654	98.6			
指標名2		配分金							
指標説明(式)		受託)受取配分金(千円)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	355342	357076	100.5	318286	89.1			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数が減少したが、受取分配金の総額は増加した。	3
効率性	手段の最適性	会員数は微減であるが、適正な運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおりである。	3

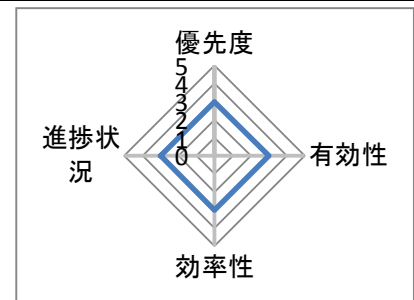
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	団体が意欲的に新規事業を行う中、補助額が増えている

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	雇用の担い手の減る中、高齢者の活躍の場をさらに増やしていく。



配点	32.5
総合評価	15